

科目名	担当者名	配当	期	単位
倒産法Ⅱ	岩崎 晃	2・3選	後期	2

■講義内容■

債務者が経済的に破綻した場合の法的処理手続の基本構造について、法人及び個人の破産手続（清算型倒産処理手続）と民事再生手続（再建型倒産処理手続）を中心に講義を行う。講義方法としては、毎回のテーマに関する基礎的な知識について十分な予習がなされていることを前提に、問答方式による討論型の授業を行う。

■シラバス■

<科目のねらい>

倒産処理法における用語の定義、各種制度の立法趣旨、要件、効果等を正確に理解することを積み重ねることにより、倒産処理法の基本構造、特に、手続の流れ、実務上、特に問題となる事例等について深く理解することを主眼とする。なお、倒産法Ⅱは後期に実施されることから、開始後の財産状況の調査、否認、債権者集会、配当・弁済、破産、民事再生以外の倒産手続、個人に関する倒産手続等について講義を行う。

講義にあたっては、各回のテーマについて教科書、参考書として指定した文献により基礎的な情報を獲得していることを前提に、その情報が正確に理解されているか否かを確認し、さらに、その正確な理解を前提としてさらに発展的な問題点についての検討を問答形式で行う予定である。

<科目の内容>

第1回 財産状況の調査と換価

財産状況調査の概要・目的／財団を構成する財産の換価

第2回 否認（1）－要件

否認制度の概要・目的と要件

第3回 否認（2）－効果

否認権行使による効果

第4回 否認（3）

否認権行使に関する判例の検討

第5回 取戻権・相殺

取戻権の概要・目的と要件・効果／倒産処理法における相殺の概要・目的と要件・効果

第6回 役員等の責任追及

役員等の責任追及制度の概要・目的と要件・効果／裁判例等を通じた運用の実態

第7回 債権者集会

債権者集会を開催する目的／開催される場合と開催されない場合の差異／開催の実態

第8回 清算型倒産手続における配当

配当に関する手続の概要・種別／実務上問題となる点

第9回 再建型倒産手続における再建計画と弁済

再建計画の法律上の要件／再建計画認可に関する手続／再建計画の履行・弁済

第10回 手続の終結

倒産手続の終結の要件・効果／他の手続への移行

第11回 倒産犯罪

各罰則規定の要件／実務上問題となる事例

第12回 会社更生手続

会社更生手続の概要／実務上の運用の実態

第13回 個人破産手続（免責・復権・自由財産）

個人破産手続の概要／実務上の運用の実態／免責・復権・自由財産制度の概要

第14回 個人再生手続

個人再生手続の概要／実務上の運用の実態／住宅資金特別条項の概要

第15回 定期試験

<参考書>

伊藤眞「破産法・民事再生法 [第2版]」（有斐閣）

青山善充・伊藤眞・松下淳一編「倒産判例百選 [第4版]」（有斐閣）

山本和彦「倒産処理法入門 [第3版]」（有斐閣）